

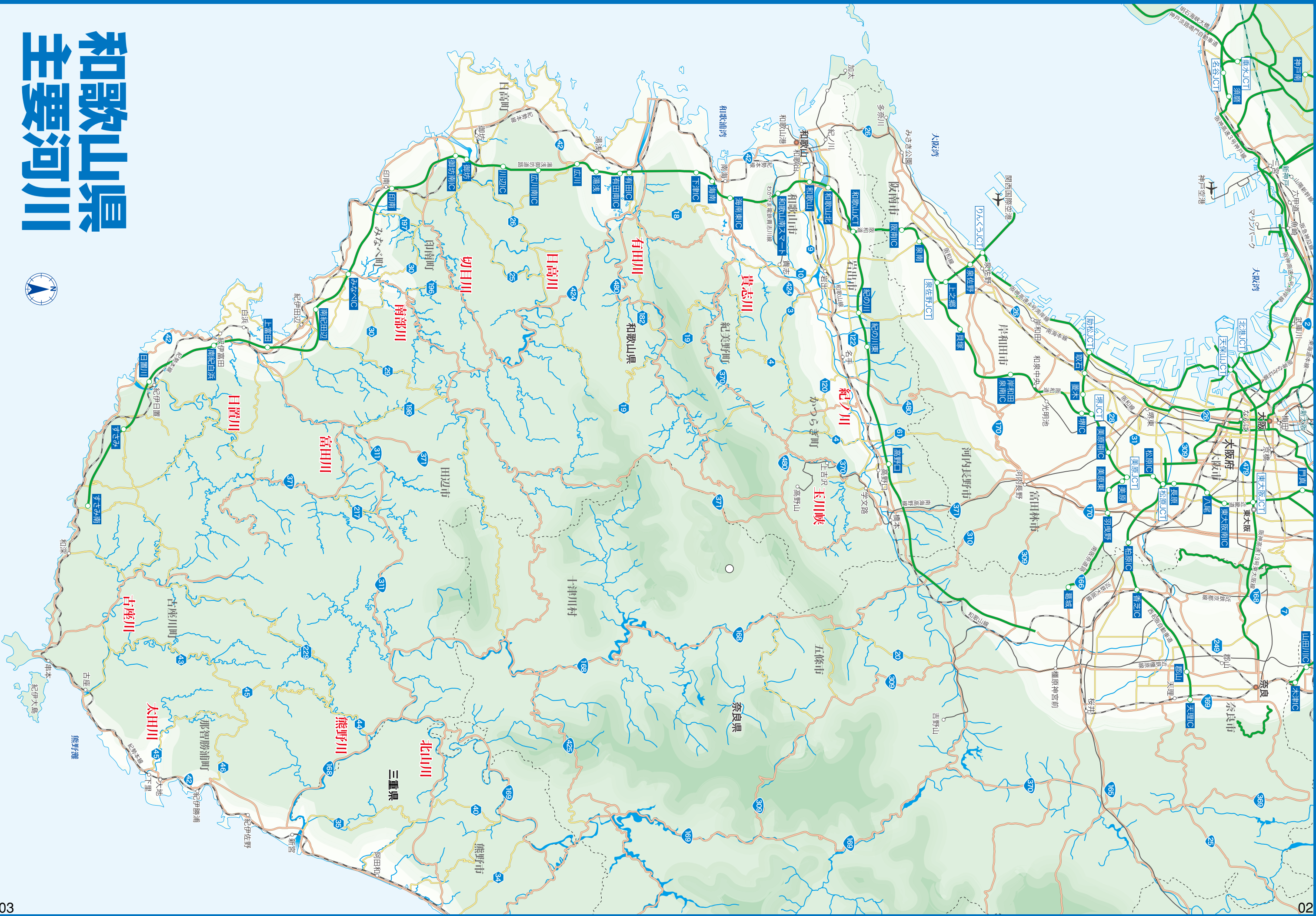
紀伊国わかやま 溪流釣り MAP



紀ノ川水系・貴志川
紀ノ川水系・玉川峡
有田川ダム上
日高川ダム上
富田川
日置川ダム上
古座川水系・七川漁区
新宮川水系・四村川

凡例

- ① 駐車スペース
- ★ 入川口、入川道
- ①②③④⑤……
写真撮影場所
- WC 公衆トイレ



和歌山県 主要河川



紀ノ川水系

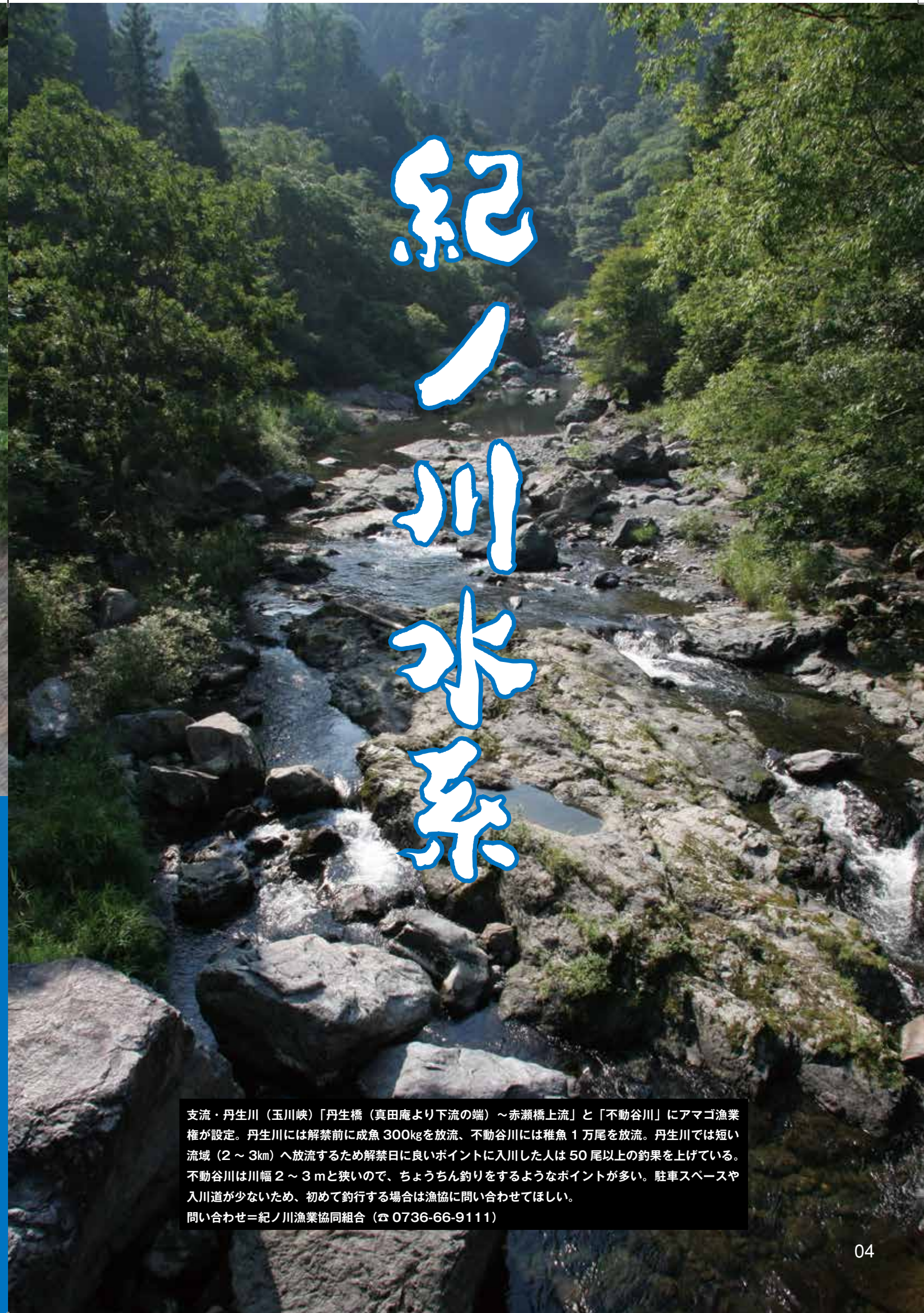


きしがわ 貴志川

- ① たまゆらの里～立岩
- ② 土井湯堰堤～滝ノ川橋
- ③ 中村橋下流

たまがわきょう 玉川峡

- ① やどり温泉～下市平橋
- ② 栢石～塩瀬橋



支流・丹生川（玉川峡）「丹生橋（真田庵より下流の端）～赤瀬橋上流」と「不動谷川」にアマゴ漁業権が設定。丹生川には解禁前に成魚 300kg を放流、不動谷川には稚魚 1 万尾を放流。丹生川では短い流域（2～3km）へ放流するため解禁日に良いポイントに入川した人は 50 尾以上の釣果を上げている。不動谷川は川幅 2～3m と狭いので、ちょうちん釣りをするようなポイントが多い。駐車スペースや入川道が少ないため、初めて釣行する場合は漁協に問い合わせしてほしい。
問い合わせ＝紀ノ川漁業協同組合 ☎ 0736-66-9111

貴志川①

たまゆらの里～立岩

リゾートコテージたまゆらの里あたりから笹の瀬橋の区間は毎年平均250kgの成魚放流している。近年ではC&R区間が下流域に設けられたため当区間はエサ釣りがメインになっている。竿は5.3m前後が適切。仕掛けはスタンダードなもので十分だが、エサは日によっていろいろ試した方がよい。釣果情報などで当たりエサなどを確認するのがよいだろう。もちろんルアー、フライフィッシングも可能。瀬と淵が交互に存在し、水深がある瀬や水面がフラットなト口場など魅力的なポイントが連続する。ところどころ流れが緩やかで砂礫が見られる区間もある。といった具合にアマゴの生活環境に適しており釣り切られることも少なく、ホタルが舞う6月でも淵尻でライズするアマゴを見かける。

全体的に河原は広々としており初心者でも遡行しやすいが、笹の瀬橋より下流五反田橋までは少し水量も多くなるので注意したい。五反田橋周辺の堰堤や淵はルアー、フライフィッシングにも適している。賢い大きなアマゴは堰堤の払い出しや淵尻に付いていることが多いので不用意に近づくとよくなく、正確なアプローチが必要。また後から来る人のためにも容易に深みに入ることは避けたい。

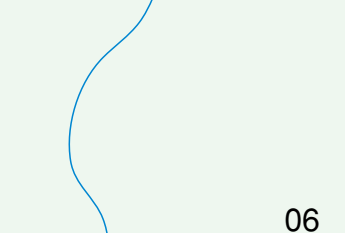
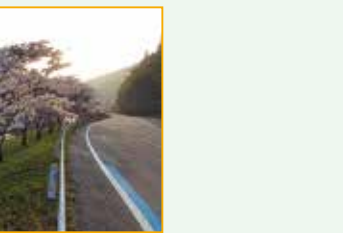
新五反田橋から土井湯堰堤までは漁場区間であるが放流はないので解禁当初の魚影は薄いと思われる。



C&R 区間



たまゆらの里は紀美野町長谷宮の貴志川左岸沿いにあるリゾートコテージで低温岩盤浴・露天風呂付き部屋などが人気。カフェ&レストラン、バーベキュー、プール、花火ゾーン、共同の岩風呂、バレーコート、パターゴルフなどの施設も充実しており、もちろん川遊びも可能。宿泊だけでなく日帰りプランもある



至・有田川ダム上
花園方面



約500m

貴志川②

土井湯堰堤～滝ノ川橋



約 500m

C&R 区間



久保田橋の上流約400mにある土井湯堰から下流のだるま橋までがC&R（キャッチ&リリース）区間になる。

流域にはキャンプ場があり水田が多く見られる。C&R期間は2021年5月末まではルアー・フライ・テナカ専用区だったが、毎年ルールが変わるので漁協に確認する必要がある。

この区間とはにかくルアーやフライに適しており、川へのアクセスも分かりやすいので初心者にも最適。障害物も少なくラインを長く出すことが可能で、いろいろな流れを楽しめる。ルアーやフライのラインコントロール、リリースをいろいろ試せるのでアプローチのトレーニングにも最適だ。

河床に岩盤が見られるところも上流部同様であり、落差が大きいところには大きめの岩が多くアマゴが潜むには最適なポイントを形成している。途中、砂や玉石がある区間もあるが、釣り人のプレッシャーがなければ悠々と泳ぐアマゴの姿を確認できる。

解禁当初からユスリカやカゲロウが多くライズを見かける。またトビゲラなども多くなれば身を乗り出して捕食するアマゴの姿が見られる。5月末からはエサ釣りも可能で大きな魚が各所の淵に潜んでおり、6月のアユ釣り解禁以降も成長を続けるアマゴが見られる。



さまざまな溪観を持ち 水質がよい居心地の良い溪流 それが貴志川

- 溪流釣り初心者に最適で、またベテランの技量を再確認するのに最適な流れが貴志川である。
- 貴志川は和歌山県の高野山の西に源を発し、高野町、かつらぎ町、紀美野町を西に流れたのち、支流の真国川が合流し海南市で北向きに流れを転じ、紀ノ川市と岩出市の境界から紀ノ川に注ぐ、総河川延長 39.1km の 1 級河川である。
- 高野山は世界遺産に認定された大自然に恵まれた豊かな地であり、弘法大師空海が修行の場として開いた高野山真言宗の聖地を弘法大師が歩いた路沿を流れる清流で、流域のほとんどが森林で、中下流域には果樹園や水田が広がる里川という表現が似合う河川である。
- 標高 700 ~ 800m の山に囲まれ保水力があり水量の安定した多くの支流もある。山や河川の砂礫で濾過された沢や支流の水が織りなす貴志川の水質はとともよくアマゴを育むには最適だと思われる。
- 近年、ダムの有無が魚の生態に大きく影響することが周知されつつあるが貴志川にはダムがなく上流域のかつらぎ町新城あたりまでは魚の往来が可能な堰堤があるのみで、アマゴにはとても生活しやすい環境であり、大きな個体を育む環境でもあるといえる。また増水、濁りが消えるのが非常に早いというのも体感できる貴重な河川だ。
- 全般に川幅は広く、高低差がある区間と平坦な区間でメリハリのある流れが形成され、さまざまな溪相を持ち合わせているので「里川」という表現が似合わない雄々しい区間もあり、アマゴはもちろん釣り人にも愉しめる流れである。
- 遡行はしやすく水位によっては長い距離を釣り歩くことが可能。ルアー釣りでは対岸までのキャストで流心以外にもいくつかの魚が潜む流れを探ることができ、フライフィッシングでは長くラインを出して複雑な流れを釣ることができる。
- 漁協では 2020 年に C & R (キャッチ&リリース) 区間を設けるなどの活動を開始し、ルアー、フライ、テンカラといったゲームフィッシングへの理解も感じられる。

基本放流はされていないが上流から移動してきた個体がいる。だるま堰堤下は人を寄せ付けない雄々しい流れなのでアマゴの棲息には最適な環境だと思われる。

玉石の瀬と淵やト口場が関わるところや松ヶ峰堰、今西堰という 2 つの堰堤もアマゴの付き場である。春は天然遡上のアユが多く見られカゲロウが舞う季節が多く見るとアマゴはフィッシュイーターとなりアユを捕食する。

それに合わせてルアーやフライはミノリヤストリーマーなどが有効かもしれない。入川はしやすいが駐車スペースは狭い場所が多いので十分配慮が必要。



貴志川③ 中村橋下流



Guide

- 管轄漁協 貴志川漁業協同組合 (☎ 073-495-2114)
- 解禁日 C&R区間 3月1日、エサ釣り区間 3月第2日曜日
- 溪流釣り遊漁料 年券 5500 円、日券 3300 円 (5 歳未満・肢体不自由者の日券 2750 円)
- 釣況問い合わせ 貴志川漁業協同組合
- 交通 阪和道の海南東 IC から国道 370 号を東進、野上新橋を渡り右岸側を進むルートと、野上新橋手前の沖野々交差点を右折しすぐの木津交差点を左折し、県道 169 号で左岸側を上流に向かうルートがある。または紀ノ川の大門口大橋から国道 480 号で高野山方面に向かい、高野町花坂から国道 370 号で上流部にアクセスしてもよい

貴志川の C&R (キャッチ&リリース) 区間について

- 五反田堰堤～今西堰堤までの区間 (約 6.5km) が C & R 区。ただし、アマゴの放流は上流側の滝ノ宮橋から毛原大橋の間 (約 2.5km) に限るので、滝ノ宮橋から下流は上流から移動してきた魚のみを釣りこるようになります。
- 入川道には立看板があり初めての釣行でも分かりやすく、また比較的遡行しやすい川なので初心者に最適です。
- 2 月から 5 月の間で成魚を数回放流します。
- C & R 期間は 3 月 1 日から 9 月 30 日までとなります。
- シングルフック、バーブレスフックを推奨します。
- 区間内には公衆トイレがあります。

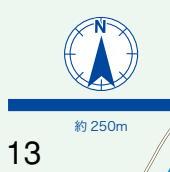


玉川峡① やどり温泉～下市平橋



玉川峡のC&R (キャッチ&リリース) 区間について

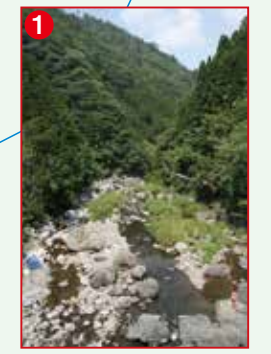
- いなみの辻～犬戻りの下 (約2km) の区間がC & R区。
- ①～⑦の番号を表示した立看板を設置しており、その周辺に駐車スペースや入川道がある (④は上流と下流約50m付近に入川道)。
- 川原の石や道路わきに白地で漁場番号が書いており、C & R区は概ね89番から112番の間 (川から上がるときの目安。看板③は94/93付近、④ 99/98、⑤ 104/103、⑥ 110/109、⑦ 112/111)。
- 深い淵や大石がごろごろしており遡行困難な場所もある。
- 2月から5月の間で成魚を数回放流する。
- C & R期間は3月6日から7月31日まで。
- シングルフック、バーブレスフック (カエシのないハリ) 推奨。
- 区間内に簡易トイレ有り。



日帰り入浴、食事だけも可能な温泉宿泊施設。玉川峡の遊漁券を提示すると宿泊1000円引き、もしくは朝食サービス、入浴50円引き



3間四方の大石で丹生の滝入口前



北又橋の上流、川の左岸側を見上げたところにある



御手洗の滝の横から100mほど森の中を上ると見えてくる落差20mほどの滝

玉川峡② 栢石～塩瀬橋



Guide

- 管轄漁協 玉川漁業協同組合 (☎ 0736-54-4640)
- 解禁日 3月7日
- 入漁料 年券 4400円 (消費税込み)、日券 3300円 (消費税込み)
- 釣況問い合わせ 玉川漁業協同組合 (☎ 0736-54-4640)
- 交通 紀ノ川左岸の国道370号と県道13号が出会う南海高野線の九度山駅前から同国道を高野山方面に向かい、赤瀬橋の交差点で河根・宿方面へ

●どーむびれっじキャンプ場
バンガロー、テント泊、日帰りキャンプ、バーベキューが楽しめるキャンプ場

●農林総合研修センター さえもん
地元農林産物、山菜、木工製品、キャンプ用品などの販売のほか喫茶、軽食のレストランも営業している

玉川峡というのは紀ノ川支流・丹生川のことである。自然豊かな景勝地で落差が少ない穏やかな流れが特徴である。アマゴの解禁は例年3月の第1日曜日。入川道がよく整備されており道路からすぐに下りられる場所が多いため、初心者や女性、年配の人も安心。ガイドレール沿いに青いテープが巻かれているところが入川口の目印で、そこから釣り場にアクセスできる。上下流とも透明感あふれる清流で底の状態まで容易に観察できる。解禁直後はまんべんなく行われた成魚放流で漁区全域で好釣果を得ることが出来る。エサはヒラタなど川虫がよい。ヒラタは初期、下流域に多いが水温上昇とともに上流でも採取できるようになる。川沿いの道路は道幅が狭いので通行の際は速度を落として安全運転で譲り合いを心がけてほしい。

紀伊国わかやま
溪流釣り
MAP



令和4年3月1日発行

和歌山県内水面漁業協同組合連合会